

生活道路除排雪の在り方検討に関するアンケート調査票

町内会・自治会名： _____ 区 _____

問1 排雪支援制度の利用状況について伺います。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ア パートナースhip排雪制度を利用している（一部実施も含む）
- イ 市民助成トラック制度を利用している（一部実施も含む）
- ウ どちらも全く利用していない・利用するのをやめた
- エ 分からない
- オ その他（ _____ ）

問2 問1で「ア・イ」を選んだ方にお聞きします。排雪支援制度の実施にかかる地域の費用負担が貴会の活動や運営において、どの程度負担になっているか、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ア 非常に負担が大きく、他の活動を制限しなければならない
- イ 負担は大きいが、何とかやりくりできている
- ウ それほど負担になっていない
- エ 全く負担になっていない
- オ 分からない
- カ その他（ _____ ）

問3 問1で「ウ」を選んだ方にお聞きします。パートナーシップ排雪制度や市民助成トラック制度を利用していない理由として、あてはまるものをいくつでも選んでください。（複数選択可）

- ア 費用負担が大きく、町内会・自治会の予算や積立金では賄えない
- イ 役員等（担当者）の事務手続きなどの負担が大きい
- ウ 費用負担をする世帯・しない世帯があり、公平性を保てない
- エ 制度を利用するための地域内の合意形成が困難
- オ 民間業者と排雪契約をしている世帯が多く排雪の必要がない
- カ 幹線道路に面している世帯が多く、制度利用しなくても排雪が行われる
- キ 排雪が行われなくても日常生活に大きな支障が無い
- ク 道路幅が狭いなど、制度を利用したくても排雪作業が困難
- ケ 制度自体の存在や利用方法を知らなかった
- コ その他（ ）
- サ 特になし

問4 今年2月から実施した、生活道路の緊急排雪の作業時期はいつ頃でしたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ア 2月上旬
- イ 2月中旬
- ウ 2月下旬
- エ 3月上旬
- オ 分からない（市民助成トラックによる排雪を実施したを含む）
- カ その他（ ）

問5 緊急排雪では、パートナーシップ排雪や市民助成トラックによる排雪作業とは異なり、スピードを重視した必要最低限の作業を実施しました。
「緊急排雪が終わった後」の道路状況について、車両や歩行者の通行に支障はありましたか。作業後の道路状況として、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ア 作業後は、全く支障がなかった
- イ 作業後は、大きな支障がなかった
- ウ 作業後も、少し支障があった
- エ 作業後も、大きな支障があった
- オ 分からない
- カ その他（ ）

問6 問5で「ウ・エ」を選んだ方にお聞きします。緊急排雪後、具体的にどのような支障がありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。（複数選択可）

- ア 通行幅が狭く、車両の通行が難しかった
- イ 路面の段差や凸凹・ザクザク路面により、車両の立ち往生が発生した
- ウ 交差点の雪山が高く、左右の安全確認が難しかった
- エ 路面状況が悪く、歩行するのが難しかった
- オ その他（ ）

問7 緊急排雪では、作業スピードを最優先するため、パートナーシップ排雪のように町内会ごとの作業にとらわれることなく、広域的な作業を実施いたしました。そのため、具体的な作業日程を事前にお知らせすることが難しい状況でした。このことについて、地域活動や住民生活にどの程度影響がありましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ア 全く影響はなかった
- イ 大きな影響はなかった
- ウ 少し影響があった
- エ 大きな影響があった
- オ 分からない
- カ その他（ ）

問8 問7で「ウ・エ」を選んだ方にお聞きします。どのような点で作業日程に関する情報が必要でしたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。（複数選択可）

- ア 住民からの問い合わせに対して、作業の見通しを説明するため
- イ 日常生活の予定（外出や来客、送迎など）を決めるため
- ウ ごみ収集に関して、住民への周知や清掃事務所との調整を行うため
- エ 町内会行事や地域活動などの予定（延期・中止）を判断するため
- オ 道路への雪出しや路上駐車を控えるよう、住民へ周知するため
- カ その他（ ）

問9 現在、本市では除排雪の市民ニーズが高い生活道路において、持続可能かつ公平な除排雪を実現するため、作業可能な全ての生活道路を対象として排雪作業を行う場合、どのような作業が可能か検討しています。この検討にあたって重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。（複数選択可）

- ア 排雪作業の公平性の確保(公共排雪への移行)
- イ 従来制度のような地域の自主性の確保
(パートナーシップ排雪などの制度継続)
- ウ 地域の費用負担の改善
- エ 作業後の車両や歩行者の通行環境
- オ その他()

問10 作業可能な全ての生活道路の排雪を公共で行う場合には、市の財政負担の増加が見込まれます。
その対応としてあなたが重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。（複数選択可）

- ア 財政負担の増加を抑制する、効率的な作業方法の検討
- イ 財政負担の増加を抑制する、除排雪水準の設定
- ウ 財政負担の増加に応じて、市民負担を求める仕組みづくり
- エ その他()

<参考(検討中の作業方法)>

1 地域の費用負担感や不公平感の解消

- パートナーシップ排雪のような地域支払額や申請手続きは不要
- これまで排雪が行われていなかった地域も含めた対応

2 除排雪作業の効率化

- 行政主体で排雪工程を決定し、町内会毎ではなく、道路毎などで作業を実施

3 シーズンを通した冬季道路環境の確保

- 排雪作業の開始を1月中旬頃に前倒し、気象状況に応じて臨機な作業を実施
- 排雪作業と路面整正と組み合わせて、ザクザク路面を軽減

問11 その他、本市の雪対策や今後の生活道路除排雪の在り方について、日頃感じていることやご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。（自由記載）

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。